



今月の 大槌 びと

おおつちおばちゃんクラブ のみなさん

全国で猛威をふるう新型コロナウイルス感染症。マスクや除菌用品の不足が深刻な問題になり、手作りマスクの活用が全国的になりました。おおつちおばちゃんクラブでは大漁旗柄の布マスクを手作りしています。今回は、代表の川原畑洋子さん(写真中央)にお話を聞きました。



全国に安心と笑顔を

今回の新型コロナウイルス感染症で、当たり前だと思っていた生活が変わってしまい、多くの人が大変だったと思います。幸い、多くの人が大変だった方がいなく、震災の時に全国の皆さんから助けてもらったことへの恩返しと思いを入れて、大漁旗の布マスクを作っています。

マスクはおばちゃんクラブのメンバーの手作りで、1枚1枚丁寧に作っています。全国から注文があり、普段使用するのももちろん、とてもきれいな布なので記念に注文される方もいます。中には、震災の時にボランティアとして大槌に来てくれた人や、町の復興に携わってくれた人からの注文もあり、懐かしさがあります。

大槌はやっぱり海のイメージ

「繋がり」の大切さ

震災のときも、今回の新型コロナウイルスも人との繋がりの大切さに気付きます。注文の多い布マスクをはじめとした「ものづくり」とおして、おばちゃんクラブのメンバー同士の間にはもちろん、町内各地で開催しているサロン活動で世代や地域にとらわれない人と人との「繋がり」が生まれればいいと思います。

